

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日の間に 当院において入院治療を受ける 60 歳以上の方へ

—「岡山大学病院で入院治療を受ける認知症高齢者と認知機能が低下した

高齢患者の実態調査」へご協力のお願い—

研究機関名 岡山大学病院

研究機関長 槇野博史

研究責任者	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 生体制御科学専攻 脳神経制御学講座 精神神経病態学分野	准教授	寺田整司
研究分担者	岡山大学病院 入院棟西 1 階 岡山大学病院 入院棟東 7 階 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 脳神経内科学	認知症看護認定看護師 認知症看護認定看護師 助教	三牧好子 山本昌子 菱川 望
	岡山大学病院 薬剤部 岡山大学病院 総合患者支援センター 岡山大学大学院保健学研究科	薬剤師 医療ソーシャルワーカー 教授	江角悟 三崎めぐみ 西田真寿美

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

日本は少子高齢化で 2014 年の高齢化率は 26%と超高齢社会となっています。高齢化率は上昇し 2025 年には 30.3%となることが予測されています。さらに高齢化に伴い認知症の人も増加し、2025 年に 65 歳以上の高齢者の 4 人に 1 人が認知症あるいは予備軍になると言われています。その対策として厚生労働省から 2015 年に新オレンジプランが出され、病院はもちろん地域全体で取り組みが進んでいます。当院においても、認知症疾患医療センターが設置され、認知症の治療や相談に応じている状況です。認知症の人が一般病棟に身体治療のために入院するのは 2 割程度と言われてはいますが、特定機能病院である岡山大学病院に認知症高齢者の方がどの程度入院しているかについて確実なデータがありません。そこで、当院に認知症の方がどの程度、どのような目的で入院治療を受けるのか、そしてどのような多職種チームの介入を受けて、どのように退院していくのかについて実態を明らかにすることを目的に研究を行うことにしました。また、認知症と診断は受けていないが、記憶障害や見当識障害、理解力・判断力の低下などの認知機能が低下している人の入院生活においても、適切な関わり方を行うことでせん妄予防や認知症の行動・心理症状の予防につなげることができることから、認知機能が低下した 60 歳以上の人も含めて実態を明らかにすることを目的に研究を行うことにしました。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

研究成果により、認知症の人や認知機能が低下した人が岡山大学病院でどのような入院治療を受け、どのような入院経過をたどり退院していくのか傾向がわかり、その傾向を知ることで適切な関わり方を提供することができるようになります。その結果、認知症の人や認知機能が低下した人に対してせん妄予防、認知症の行動・心理症状の予防となり、スムーズな治療経過をたどることで、早期に退院することができるようになることが推測されます。また、当院での認知症疾患医療センターでの取り組みを検討することもでき、今後の認知症の人の入院治療に活かすことができると考えます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日の間に岡山大学病院において入院治療を受けられる 60 歳以上の人を研究対象とします。

2) 研究期間

平成 28 年倫理委員会承認後～平成 29 年 12 月 31 日

3) 研究方法

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日の間に岡山大学病院において入院治療を受けられた 60 歳以上の人を、研究者が診療記録や看護記録から必要なデータを抽出し、統計処理を行ない、認知症の人や認知機能の低下した高齢者の実態について調べます。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報は、診療記録と看護記録の情報を使用させていただきますが、あなたの個人情報は削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、診療記録と看護記録から以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報は削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、疾患名、既往歴、治療目的、認知症の治療の有無、入院日数、入院中の診療科以外の受診状況、介護保険の取得状況、世帯状況、退院先、看護必要度

6) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間岡山大学病院で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、情報の二次利用を行う予定はありません。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画書を閲覧することができますのでお申し出ください。また、個人情報の開示については、数値可しデータを収集するため、個人個人の詳細な情報に対応することが困難であり、申し訳ありませんが個人情報の開示は行えません。認知症に関して気になる場合は、担当している主治医にご相談ください。

なお、この研究はあなたのデータを個人情報がわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、平成 29 年 5 月 10 日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にも不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 生体制御科学専攻 脳神経制御学講座 精神神経病態学分野

氏名：寺田整司

電話：086-235-7242（平日：9時00分～17時00分） ファックス：086-235-7246